

【山崎名誉主宰の俳句】

春から秋へ

山崎 聰

東京の街のいろいろ梅薫る
鬼がわらう節分の豆喰らうとき
梅香る大雨の日も晴れの日も
東京の梅桃さくらそして柳
すこしくらくなりたる庭のヒヤシンス
春の長い一日きようからは幼稚園
いよみかん甘平西の窓に鳥
関東の隅っこにおりほととぎす
雛芥子のようなる男海青し
秋の陽沈むライオンの檻の前